

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-111408(P2007-111408A)

【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-308131(P2005-308131)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月15日(2008.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた始値から終値までの範囲内で当該始値から終値に向かう順序で繰り返し、かつ、設定される初期値から順次更新される抽選用乱数カウンタと、

所定範囲内で繰り返し更新される初期値決定用の初期値乱数カウンタと、

前記初期値を設定する初期値設定手段と、

前記初期値設定手段によって設定された初期値を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段を初期化可能な初期化手段と、

前記記憶手段に記憶された初期値を使用して前記抽選用乱数カウンタの更新処理を行う抽選用カウンタ更新手段と、

所定の契機により前記抽選用乱数カウンタの値を読み出す抽選値読出手段と、

前記抽選値読出手段によって読み出された値が予め設定された当選値と一致するか否かを判別する当選判別手段と、

前記抽選値読出手段によって読み出された値が当選値と一致した場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を導出可能な特別遊技状態導出手段とを備えた遊技機であって、

前記初期値設定手段は、

前記初期化手段による初期化が実行された場合、最初の初期値として、前記抽選用カウンタの終値より始値側の値でかつ当該終値に最も近い値の当選値より終値側の値である第1の初期値を設定し、

前記第1の初期値の設定後、前記抽選用乱数カウンタの値が前記終値に達した場合に、次の初期値として、遊技機固有の固有値に基づき決定される第2の初期値を設定し、

前記第2の初期値の設定後においては、前記抽選用乱数カウンタの一周期毎に当該周回が終了した場合の前記初期値乱数カウンタの値を次の初期値として設定することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技機固有の識別番号を記憶する識別番号記憶手段と、

前記識別番号を前記初期値乱数カウンタの更新範囲内の値に変換して前記第2の初期値を取得する初期値取得手段とを備えていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記第1の初期値を予め記憶する固定値記憶手段を備えたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。